



もりっこ

第35号

通信

＜理事長挨拶＞『子どもたちの体験の機会』

コロナ禍に入り約3年の月日が経過しました。その生活の中では、様々な制限がかかってしまいました。子どもたちはその社会の変化を、どのように感じていたのでしょうか。

多くのことを体験する機会が損なわれ、健康や安全を優先したばかりに、子どもたちが子どもでいられる時期に多くの機会が失われました。今からでも取り戻せると信じて、日々森の中での活動を実践しています。

3年という長い期間、多くの制限を受けたことで子どもたちの成長にはどのような影響があったのかは、大人が真剣に考えていかなければいけないと思います。子どもたちの「生きる力」が育つお手伝いを、コロナ禍が落ち着いてきた今だからこそ、真剣に考え、取り組まなければいけないのではないのでしょうか。1人の人間にできることは少なく小さいですが、できることは何でもやっていこうと思っています。 理事長 棚島隼人

◆12/11 (日) NPO 法人 iitoko レクリエーション交流会

「頑張るお母さんの応援団」として子育て支援を行っている iitoko さんの活動応援として、レクリエーションゲームの指導に行ってきました。様々な事情を抱えたお子さんも多く参加してくれましたが、ゲームを通して少しずつ距離も近づき、終わる頃には仲良く遊んでいました。一緒に楽しむ時間の大切さを改めて教わった気がします。保育士シンガーソングライターの「いわしピクニック」さんもコンサートをやってくれ、お母さん方もものんびり楽しめた1日となりました。(めで島)



◆12/24 (土) ケニーズ・ファミリー・ビレッジ クリスマスキャンプ



埼玉県にあるファミリー向けのキャンプ場で、3年ぶりに大規模開催となったクリスマスイベントで、キャンプファイア指導をさせていただきました。真冬のキャンプ場ではスタッフの皆さんから様々なおもてなし料理が振る舞われ、多くのファミリーが冬のキャンプを楽しんでいました。キャンプファイアには200人くらいの方が参加してくれ、子どもたちはもちろんのこと、保護者の皆さんも一緒に体を動かして楽しんでくれました。様々な制限がある中で、多くの子どもたちのためにイベントを企画して下さったスタッフの皆さんのご苦勞を思うと、ゲストとして呼んでいただいたことも光栄に感じます。貴重な機会、ありがとうございました！(めで島)

◆1/24 (土) 群馬県青少年会館 中学生・高校生ボランティア体験交流会

中学生・高校生に向けたボランティア活動の体験会が実施され、事前学習の時間に講師としてアイスブレイキングを行い、その後にボランティア活動に臨む上での心得などをお伝えしてきました。

参加してくれた学生さんはボランティア活動が初めてという方も多く、緊張した様子でした。翌日には実際に子どもたちと触れあう企画が用意されており、交流と学習をした後にみんなと一緒に企画の準備を行いました。

翌日の企画では子どもたちとたっぴりと関わり、良い体験ができたという感想が届きました。これからも若者の挑戦を応援したいと思います。(めで島)



◆2/13 (月) ぐんまこどもの国児童会館 職員研修



職員向けの研修を依頼され、お手伝いしてきました。次年度に向けて職員間で共通の意識を持つためのスタッフ研修です。

次年度一年間をどのような意識で過ごしたら良いかをみんなで考えるため、コンセンサスゲームを通して考えを共有し、合意形成を図る体験をしました。関わるスタッフは経験年数も年代もそれぞれであるため、同じ条件で物事を考えても結論や結果が変わってきます。なぜそのような結論に至ったかなどをお互いに話し合い、それぞれが出した結論について共有することで、お互いの考え方や価値観にも触れることができたと思います。(めで島)

◆3/29 (水) 学童クラブ「森遊び体験」

前橋市内の学童クラブ、年度内最後の行事として森遊びをお手伝いしてきました。この日遊びに来てくれた子どもたちは、こども園に在籍している時から体験をしてくれています。3年生までの子どもたちが参加してくれましたが、多い子は5回目の森遊びとなりました。

何度も森での遊びを体験しているだけあって、森でどんなことをしたいかをしっかり分かっている子どもたちです。開始と同時に森中へ散らばっていき、それぞれの遊びを満喫していました。

焚き火を囲んで、他愛のないことをおしゃべりしている姿がとても印象的でした。森の時間をゆっくり満喫してくれている姿を見ていて、嬉しい気持ちになりました。(めで島)



【自然遊び お手伝い】



前橋市内にあるこども園に月に一度訪問して、自然を使ったプログラムを提供させていただきました。年間を通してのプログラムなので、子どもたちとの関係も次第に深まっていき、訪問を楽しみにしてくれるようになりました。

春は花を探しに出かけ、夏は水に親しみ、秋は火を扱ったり季節を味わったりして、冬には風や寒さを楽しみました。どんな季節でも子どもたちは様々なものに興味を持って楽しんでくれました。

ちょっとしたことを題材にして取り上げましたが、子どもたちにはどのようにこの体験が残ってくれたのか、そんなことを考えた1年間でした。(めで島)

【森のようちえん事業報告】

①森のようちえん事業

【幼稚園・保育園を対象とした事業】

◆森のようちえん・森のほいくえん

園向けのプログラム提供(原則、金曜日のみ)

12月~3月 3件 参加延べ人数 116人

(内、引率の先生 14人)

②指導者派遣(12月~3月)

【関係団体の講習会、研修会などへの派遣】14件

保育士等キャリアアップ研修 講師(東京都等)

キャンプ場クリスマスイベント 講師

ぐんまこどもの国児童会館 職員研修講師

青少年教育施設 研修会講師 等

③主催事業(11件)

・親子の森のようちえん(年少~年長の子どもとその親)

⑦2/19(日) 10組 28人

⑧3/26(日) 雨天のため中止 計 10組 28人

・もりっこ(年長~小2の子ども)

⑦12/18(日) 16人 ⑧2/11(土祝) 19人

⑥3/12(日) 25人 計 50人

・子育てわんパーク 計 6回実施

参加組数: 58組 人数計 130人

総数 208人 ①②③ボランティアスタッフ 延べ 58人

1年間の事業実施回数

園からの依頼: 26件 924人(内、先生: 127人) 主催事業: 34件・参加者: 720人 合計: 1,644人

受託事業件数: 17件 保育士等キャリアアップ研修: 12件 自然遊び: 12件 合計: 41件

ボランティア総数(園依頼、主催事業、受託事業応援を含む)

合計: 288人

【賛助会員・寄付のお願い】

あかぎの森のようちえんでは、法人の方針でもある『自然を使って身近な社会の課題を解決し合える社会をつくりまします』の趣旨に賛同して下さる方々からの寄付を募集しております。支援の方法は2つあります。

①活動全般へ寄付をする ②賛助会員になる ~ 詳細は、事務局までお問合せください。 担当: 櫛島

【ボランティア大募集!】

あかぎの森のようちえんでは、森の中で子どもたちと遊んでくれるボランティアさんを大募集しています。平日、週末と活動をし、ております。興味がある方は事務局までご連絡ください。主な内容は、子どもたちと一緒に遊び、子どもたちの安全を保つことです。関わる上で大切な「あかぎの森のようちえん」の活動の主旨などもご説明いたします。担当までご連絡ください。 Mail: info@akagi-moriyou.com 担当: 櫛島(めでじま)

特定非営利活動法人あかぎの森のようちえん

代表 櫛島 隼人(めでじま はやと)

090-9006-8711 info@akagi-moriyou.com

〒379-2206 伊勢崎市香林町1丁目90-3

<ホームページ> <https://akagi-moriyou.com>

~~~~【あかぎの森】で検索!~~~~



Facebook



instagram



LINE@



Web

様々な媒体で情報発信しています。ご覧ください!